

一般質問

市政を問う!

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(5月下旬掲載予定)

一般質問

問 都市計画変更によって何を狙うのか。
答 全域を準防火地域の指定とすることで、燃えないまちづくりを目指す。
問 上沢勝瀬通り線沿いについて、住民からまちの発展にさまざまな期待があると認識する。用途地の変更によって、どのような街並みができるのか。
答 将来的に利便性のある施設の建設やふじみ野駅東口全体の活性化に寄与する期待を頂いている。
問 長らく居住をしている人が、これからも負担なく住み続けるまちづくりとは、どのようなものが基礎となると考えるのか。
答 より良い住環境を一



苗間地域の都市計画変更
金濱 高顕 議員



用途地域が変更される苗間地域

緒につくっていくことで安心して定住していただけの地区になってもらえればと考える。
ハラスメントの根絶
問 ハラスメントの根絶には、強い意思表示を内外へ表明することが必要と考える。
答 市として規範となる姿勢を念頭に置いて、ハラスメントの根絶のために必要な取り組みを続けていきたい。

問 駅周辺への図書館返却ポスト設置の考えは。
答 利便性向上の観点から有意義と認識しているが、スペース確保やいたずら対策、回収作業時の課題がある。今後も設置場所や運用方法を研究する。
問 物語の自動販売機で文化発信
答 物語の自動販売機を活用した文化発信の可能性は。
問 地域の文学や文化に触れる機会を広げる手法と認識している。活用事例を調査し、導入効果を見極めるなど研究する。
若者の健康支援の推進
問 プレコンセプションケアの現状の取り組みは。



図書館返却ポストの設置
古越 孝子 議員



利用しやすい返却ポスト

問 ホームページや市報Fメールで周知し、保健センター等でのポスター掲示やカード配布、二十歳の集いでチラシ配布、パママセミナーでの栄養講話を実施している。また、不妊・不育症検査費の助成や相談対応も行っている。
問 国のプレコンセプションケア推進5か年計画を受けて、今後の取り組みは。
答 関係部署の職員の講座受講を促すとともに、特に若い世代に届く啓発方法を引き続き考えていく。

問 小学生から発達段階に応じた防災教育「命のカリキュラム」の推進は。
答 各学校で児童・生徒の発達段階に合わせ、授業や行事などを通して防災・生命教育を行っている。
問 家庭や地域で火を見える機会が減っているため、火育の推進をすべきでは。
答 理科や家庭科において、火の扱い方と注意点を指導している。その上で火災発生時に命を守る行動について、実際の場面を想定した指導の充実が重要と考える。
問 中学生が自分の身を守ることも、助ける側への意識改革は。
答 中学生には今後も市の防災訓練への参加を促し、避難誘導



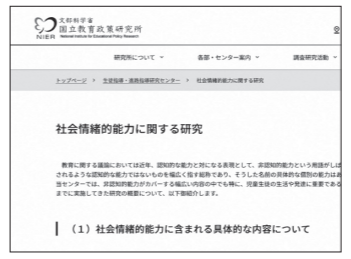
児童・生徒の防災意識の向上
鈴木 美恵 議員



高齢者や子どもにやさしいまちへ
問 三角交差点付近の主要地方道さいたまふじみ野所沢線の北側歩道整備は。
答 県に対し改善を要望しているが、現時点では事業化の予定はないとの回答である。しかし、当該交差点は交通量が多く、中学校通学路にも指定しているため、歩道整備や交差点改良を早期に実施するよう今後も要望していく。



歩道は安心して通行したい

問 非認知能力の育成について、他市では計画文書や教育大綱の説明文書に書き入れているところがある。大きな方針を示すような文書はあるか。
答 学習指導要領に学びに向かう力、人間性等と書かれており、学習指導要領が指導の基本となっている。
問 他者に関する内容の教育は。
答 学校教育全体を通じて非認知能力の育成を図る。
国立教育政策研究所「非認知能力に関する社会情動的な研究」


(1) 社会情動的な能力に含まれる具体的な内容について

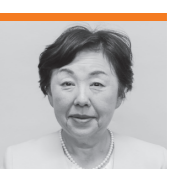


小中学校での非認知能力の涵養
坪田 敏孝 議員



ついで。
都市構造集中再編支援事業
問 上福岡駅と上福岡西公民館の間でのにぎわい創出とは具体的にどのようなものを指すのか。
答 商店街、商工会などと連携した事業を展開したい。
公道と公道につながる私道整備
問 令和4年に、所有者の一部の方の所在が不明な場合、共有者の持分の過半数の同意があれば舗装することが可能となるガイドラインが法務省から出ている。市の関わりは。
答 私道の所有者から舗装の相談があった場合、法改正の話を丁寧にしていく。

問 災害時における医療体制は。
答 東入間医師会をはじめ、市医師会、上福岡・大井薬師会、県柔道整復師会川越支部等の関係機関に、医療専門職の派遣要請を行い、保健センターや大井総合支所に拠点救護所を開設する。
アレチウリの影響
問 新河岸川遊歩道におけるアレチウリの現状と課題は。
答 アレチウリは、生態系に重大な影響をおよぼすおそれがある特定外来生物である。舟運・ふじみんの郷の美化活動範囲で、アレチウリの発生が確認されている。今後の対策として、県川越県土整備事務所及び関係各課と連携を取りながら適正な維持管理を行っていきたいと考えている。



災害時医療体制の構築は
田中 早苗 議員



業務効率化のためにDXを

道路維持管理の現状とDX
問 効率化に向けたDXの活用は。
答 舗装の穴や亀裂等を発見した場合には、即時に補修対応している。令和8年度は、市公式LINEと道路通報システムとの連携や、ICT機器のスマートフォンを活用した道路管理支援システムの導入を計画している。